



## 産山村初冬の星空観察会

# 西に沈み行く土星・木星を見送ろう



天空が広がり、阿蘇・久住・祖母山系の山々を一望できる一覽三山の台から見える山々には冠雪が見られ、厳しい冬の到来です。大変寒いのですが、冬が星空は一番きれいに見える季節です。晴れたら肉眼で見える限界の6等星や天の川まで見えるすばらしいうぶやまの星空を楽しみませんか？

今回のメインは、秋から冬へと移り変わる星座や、230万光年離れたお隣の銀河であるM31アンドロメダ銀河、秋の宝石といわれるペルセウス座の二重星団（ $\eta$ と $\chi$ ）、M45プレアデス星団（スバル）、星が生まれている現場、オリオン座のM42オリオン大星雲などを天文台の大型望遠鏡や大型双眼鏡で観察します。また、夏から秋に楽しめた2大惑星のシーズンが終わりますが、まだ早い時間帯でしたら、西の低空で沈み行く土星・木星が楽しめます。

さらに、土星・木星より低い西の低空に最大光度-4.7等級の金星が輝いています。金星は現在地球に接近しているので三日月状に満ち欠けをして大変大きな姿で見ることができます。最接近する内合になると太陽と重なり見えなくなります。その後、明け方に見える明けの明星になります。次ページに金星の満ち欠けの様子を解説していますのでご覧ください。望遠鏡や双眼鏡で三日月状態の様子は観察できますが、太陽に非常に近いため太陽を見て目を痛めないように注意しましょう。天文台の望遠鏡でも観察できますが、18時頃の早い時間帯でなければ観察できません。

この時期の観察会は、外気温が0℃以下にもなります。天文台のドームは冷たい北風をしのげますが、天文台内部は観測機器のためにホットカーペット以外の暖房はしませんので防寒対策は十分にしてお越してください。

期 日	:	令和3年12月4日（土）
場 所	:	うぶやま天文台（熊本県阿蘇郡産山村大字大利585）
時 間	:	午後6時00分～午後10時00分
観察対象	:	次ページに掲載
持 参 物	:	・防寒着 ・手作り星座早見盤（一般参加者で持ってない方には当日配布します）
料 金	:	村内の方・・・無 料 村外の方・・・高校生以上：300円 小中学生：200円 未就学児：無 料

※密を避ける観点から、予約状況によってはお断りさせていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

天候不良などで実施できない場合は、延期して開催します。その場合は、延期日を再度お知らせ端末にて連絡します。

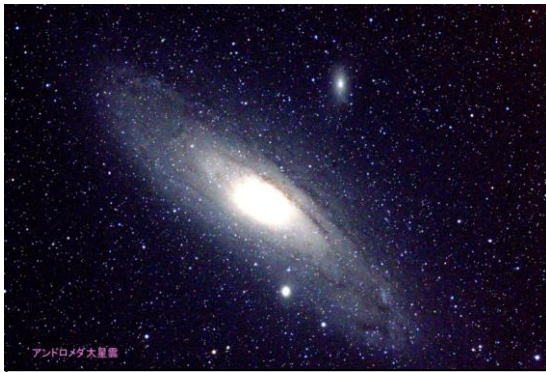
上記につきまして産山村外の方は、産山村教育委員会（0967-25-2214）までご連絡下さい。

### 【ご来館予定の皆様へ】

新型コロナウイルス感染症感染防止のため、ご来館前及びご来館の際は、下記の事項をお守りいただきますようお願いいたします。

- 新型コロナウイルス感染者との濃厚接触が判明している場合や、その恐れがある場合は、来館できません。
- 咳や発熱などの症状がある場合は、来館できません。
- マスクや手洗いなど、各自で十分な防護策をお取りください。

# 今回の観察対象



アンドロメダ銀河 (M31)



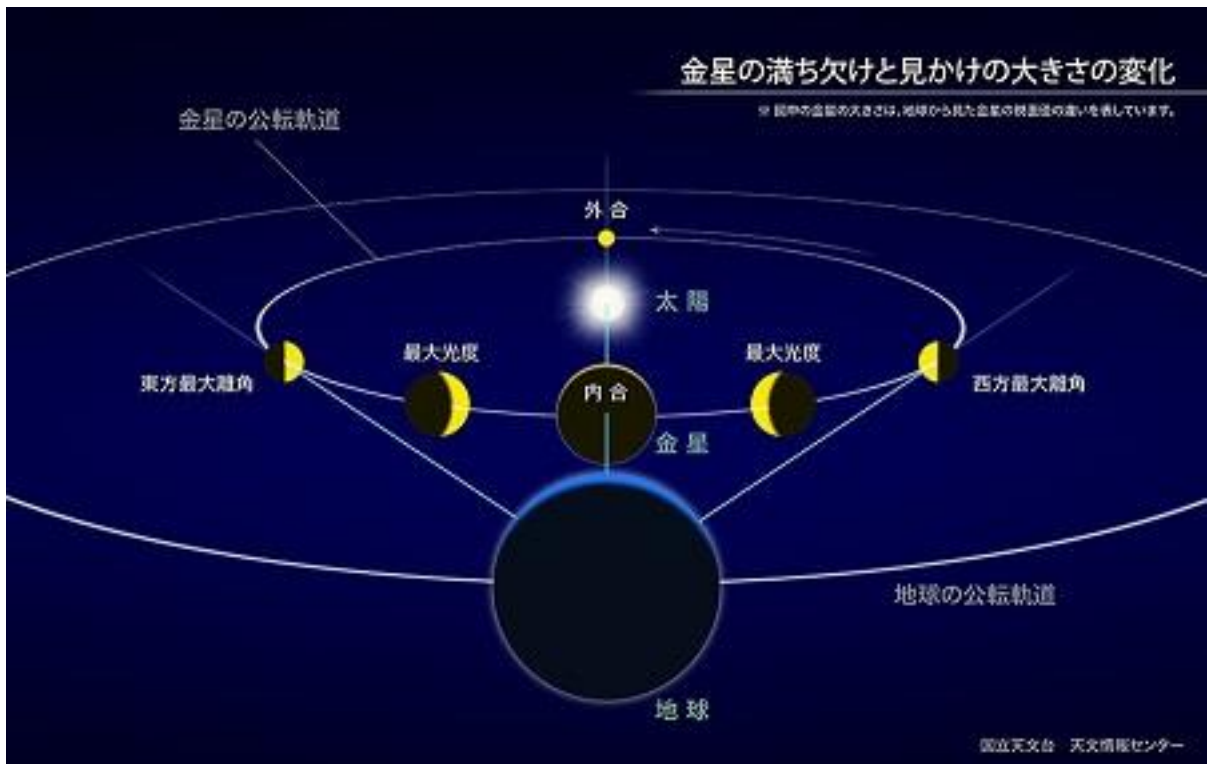
M45 プレアデス星団(スバル)



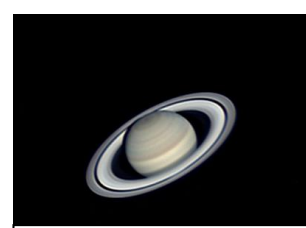
ペルセウス座二重星団 (h と x)



オリオン大星雲 (M42)



木星



土星